



創価大学

創価大学
国際仏教学高等研究所

The International Research Institute for Advanced Buddhology
Soka University

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236 1-236 Tangi, Hachioji, Tokyo, 192-8577, JAPAN
Office Phone: (+81-42)691-2695 Fax: (+81-42)691-4814
E-mail: iriab@soka.ac.jp URL: <http://iriab.soka.ac.jp/>

平成 29 年 10 月 6 日

御案内

第 79 回 国際仏教学高等研究所・仏教学懇話会

(平成 29 年 10 月 21 日)

イェンス・ブロールヴィック博士

(オスロ大学教授、ノルウェー学士院会員)

「スコイエン・コレクション中の『アマラコーシャ』に関連する類義語辞
典の八世紀の写本断簡について」

(An 8th century fragment in the Schøyen collection of a synonym lexicon related
to the *Amarakośa*)

ウルスラ・シムス＝ウィリアムズ博士

(大英図書館キュレーター)

「南シルクロード(西域南道)からの写本収集品と収集者たち」
(Manuscript collections and collectors from the Southern Silk Road)

ニコラス・シムス＝ウィリアムズ博士

(ロンドン大学名誉教授、英国学士院会員)

「文献学から歴史へ：古代アフガニスタンの言語の解読」
(From philology to history: Deciphering the language of ancient Afghanistan)



拝啓 中秋の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、日本学士院の招待で来日される Jens Braarvig 博士ならびに Sims-Williams 博士ご夫妻を講師にお迎えして懇話会を開催することになりました。

ブロールヴィック博士は、アフガニスタンから出土し、ノルウェーでスコイエン・コレクションとして収集された大量の古代仏教写本の整理・研究を続けておられます。今回のご発表では、その御研究の一端を披露して頂きます。またスコイエン・コレクションの仏教写本全般についてもご紹介下さる予定です。

ウルスラ・シムス＝ウィリアムズ博士は、大英図書館で、東洋語写本のキュレーターをされています。今回は、大英図書館をはじめヨーロッパの各所に保管されている中央アジア出土写本を、多くのスライドを使って御紹介下さる予定です。

ニコラス・シムス＝ウィリアムズ博士は、イラン語派の諸言語を長く研究され、とくにソグド語のキリスト教文献研究ならびにバクトリア語文献の解読で有名です。近年、バクトリア語で書かれた仏教文献ならびに碑文が次々と見つかっており、博士の御研究は仏教研究にとっても大変に重要なものです。

なお本研究所に滞在中の Oskar von Hinüber (フライブルク大学名誉教授)、Haiyan Hu-von Hinüber (フライブルク大学孔子学院元院長) ご夫妻も出席なさる予定です。ヨーロッパの著名なインド学・イラン学・仏教学者が一堂に会するまたとない機会です。どうぞふるってご参加下さい。

ご関心のある方はどなたでも自由にご聴講下さい。ご参加頂ける方は、予め本研究所までご一報下されれば幸いに存じます。

日時： 平成 29 年 10 月 21 日 (土) 午後 1 時 00 分～午後 5 時 00 分
場所： 創価大学 中央教育棟 西棟 12 階 第 8 会議室

ウルスラ・シムス＝ウィリアムズ博士の講演の梗概

Dr. Ursula Sims-Williams

“Manuscript collections and collectors from the Southern Silk Road”

Traditionally the study of ancient Central Asian manuscripts has tended to focus on the textual content rather than the historical context of the actual documents. In this presentation I will attempt to redress the balance, providing a survey of the major European collections with particular reference to collections in the British Library and their accompanying documentation.

ニコラス・シムス＝ウィリアムズ博士の講演の梗概

Dr. Nicholas Sims-Williams

“From philology to history: Deciphering the language of ancient Afghanistan”

In recent years, substantial texts have come to light in Bactrian, the principal administrative language of pre-Islamic Afghanistan. In this talk I will outline the process of the decipherment and interpretation of these texts, concentrating on the role of the philologist in providing access to their content and thus making it possible for the historian to reconstruct many aspects of the history of the region during the first millennium of our era.